

第 6 回審議会以降の教育委員会における対応について（概要）

1 教育委員会定例会

(1) 1月 23 日

川口市小・中学校適正規模・適正配置基本方針（改訂版）に係る審議経過について（報告）
パブリック・コメントの実施について（協議）

(2) 2月 20 日

在り方審議会 第 2 回中間報告について（報告）

(3) 3月 18 日

パブリック・コメントの結果概要について（報告）

2 パブリック・コメントへの対応について

(1) 実施期間 令和 8 年 2 月 2 日（月）～3 月 4 日（水）

(2) 提出方法 任意様式にて必要事項を記載の上、教育政策室へ送付

(3) 募集方法 広報かわぐち（令和 8 年 2 月号）に記事を掲載

(4) 結果 7 人からの計 21 件の意見提出

- 概要
- ・小規模・少人数学級のメリットを重視すべき
 - ・大規模校の分散化をしてほしい
 - ・統廃合実施前に、十分な意見要望を聴取してほしい
 - ・通学時間の短縮をしてほしい
 - ・義務教育学校・大規模校は慎重に検討すべき
 - ・現在の環境も考え、早い学校再編をしてほしい

(5) 対応

- ・市ホームページへの掲載
- ・教育政策室及び市政情報コーナーでの公表
- ・広報かわぐち（令和 8 年 4 月号）に掲載

3 川口市小・中学校適正規模適正配置基本方針（改訂版）の周知について

(1) 3月 27 日

- ・市ホームページに公開
- ・広報かわぐちに関係記事を掲載

(2) 4月 16 日

- ・市立学校長会議にて全校配付
- ・今後の方向性について教育政策室長より説明

川口市立小中学校適正規模・適正配置基本方針（改定版）（案）の
パブリック・コメント実施における市民提出意見等への対応方針一覧（一部抜粋）

No.	【意見の主旨】	【市の考え方】	【案の修正】
1	<p>小学校の大規模校の分散について検討願いたい。 現在の適正規模校においても今後の児童減少は目に見えており、小規模校に該当してしまう。 現時点で大規模校の適正化に取り組むべき。 平均児童数を超える学校については、分散を検討するべきではないか。 また、通学範囲および、地域児童数からの分布においても算出する必要があると考える。 地域による児童の居住率からも検討することでより偏りが無い児童数の分布になると考える。</p>	<p>大規模校への対応につきましては、局所的な人口増加地域や今後の利用教室の確保等の観点から、適正化に向けた取り組みが必要であるものと考えております。 具体的には、通学区の整理による適正化を検討しており、これまで地域ごとの児童生徒数に関する現状や推計について検討を進めております。 頂戴いたしましたご意見につきましては、今後の通学区の調整等に取り組む際の参考にさせていただきます。</p>	修正なし
2	<p>特定の小学校で外国籍の児童が非常に増えている。 外国籍の児童が特定の学校に集中すると、日本語指導が必要な子が増え、通常学級の学習環境にも影響が出ないかと心配している。 方針案にある「地域差の是正」や「公平な教育環境」という言葉は大変重要だと思う。今の状況は、児童構成の偏りによって教育環境に差が生まれ始めている例ではないか。 居住の地域は、「地域差の拡大」や「教室確保の難しさ」といった課題が、他の地域よりも早く、強く現れている。これは単なる学校規模の問題ではなく、特定の学校に負荷が集中している、地域特有の課題だと考える。 「外国籍児童の偏在」といった実態を踏まえた、より丁寧な検討を強く願いたい。</p> <p>例： ・外国人児童の偏在を踏まえた学区の見直し ・支援の増員だけに頼らない偏在を是正する仕組み作り ・教職員の負担が特定の学校に集中しない体制の整備</p>	<p>地域特有の課題につきましては、児童生徒数や学級数の規模、日本語指導が必要な児童生徒数、特別支援学級の配置、幹線道路の有無等、様々な課題を勘案し学区の再編も含めて、総合的に整理してまいりたいと考えております。 頂戴いたしましたご意見につきましては、今後の学校再編計画の他、地域別の再編推進プランを作成する際の参考にさせていただきます。 なお、体制の整備につきましても、日本語初期指導教室拠点校の拡充や編入時の手続きの流れを整備することで、教職員の負担軽減を図ってまいりたいと考えております。</p>	修正なし
3	<p>小規模校のメリットとデメリットについて、不登校児童生徒の増加という観点からも、小規模校のメリットを重視すべき。</p>	<p>小規模校のメリットにつきましては、当該方針でもお示ししておりますとおり、理解しているところでございます。 今後の学校再編につきましては、小規模校の統廃合のみを考えるのではなく、学区の整理等を含め、市内全体で学校規模の適正化に向けた取り組みを進めるものでございます。</p>	修正なし
4	<p>大規模校のデメリットも明らかにし、具体的対策を示すべき。義務教育学校も含め、統廃合によって大規模校をあえて作り出すようなことをしないでほしい。統廃合を実施すれば学区が広がり、通学距離や通学時間も長くなる。広すぎる学区は大きな問題である。</p>	<p>今後の学校再編につきましては、市内全ての学校を義務教育学校や大規模校に集約することを計画するものではありません。通学距離や通学時間につきましては、市内全体の学校再編を見据えた上で、適正配置に関する基準にお示ししたとおり、新たに設定し、通学条件を整理しております。</p>	修正なし
5	<p>市の基準等により、今後どうしても統廃合が必要と思われる小中学校があった場合には、統廃合を決定してから対象校の保護者、地域住民に説明するのではなく、保護者、児童生徒に対して、決定前に丁寧な説明をおこない、意見交換の場を設けてほしい。</p>	<p>学校の統廃合等につきましては、児童生徒をはじめ、保護者や地域全体に関わる大きな変化になることは認識しております。 当該基本方針に基づき、今後、学校再編計画及び地域別の再編推進プランを作成してまいりますので、取り組みの周知や連絡協議会の設置等、丁寧に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	修正なし
7	<p>統廃合等の進め方について、「過小規模の状態が2年継続し、翌年以降も継続的に過小規模が予想される場合、統廃合の検討を開始する」ことを、過小規模校として上がっている学校の保護者に今の段階で知らせるべき。</p>	<p>学校の統廃合等につきましては、児童生徒をはじめ、保護者や地域全体に関わる大きな取り組みであることは認識しております。 当該方針に基づき、今後、学校再編計画及び地域別の再編推進プランを作成してまいりますので、取り組みの周知や連絡協議会の設定等、丁寧に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	修正なし
9	<p>通学時間について、小学校1年生にとって30分は酷と思う。せめて20分にしてほしい。</p>	<p>通学時間の基準につきましては、国においては、おおむね1時間程度が目安となるなか、他自治体の状況や市内全体の現状を鑑み、おおむね30分としたところでございます。 頂戴いたしましたご意見につきましては、今後の通学区の調整等に取り組む際の参考にさせていただきます。</p>	修正なし

13	<p>統廃合等に関する基準について、基準を機械的に適用すると弊害が出る。児童生徒の状況、教職員の意見・要望、地域住民などの意見要望を十分聴取し、検討を重ねて納得・合意を得た結論を導き出すことを要望します。</p>	<p>学校の統廃合等につきましては、児童生徒をはじめ、保護者や地域全体に関わる大きな取り組みであることは認識しております。 当該方針に基づき、今後、学校再編計画及び地域別の再編推進プランを作成してまいりますので、周知や連絡協議会の設定等、丁寧に取り組んでまいります考えでございます。</p>	修正なし
15	<p>学校施設の有効活用・利用について、学校は児童・生徒への教育の場であるとともに、地域住民の諸活動利用の場となっている。大規模災害が発生した時には、地域住民の避難場所となる重要な公共施設である。仮に学校が統廃合となった場合には、「壊す・つぶす」のではなく改修して多目的利用ができる場所として有効利用するよう要望する。</p>	<p>地域における学校施設の役割は認識しているところでございます。 現時点において、対象地域や学校が決定しているものではなく、跡地利用についても検討前でありますので、頂戴いたしましたご意見につきましては、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>	修正なし
17	<p>公開で市民の意見を聴く会（仮称）の開催について、市民の意見を聴くパブコメは、民主的な在り方として大切なことであるが、パブコメのみでは、双方向のやり取りができない。今後、「公開で市民の意見を聴く会」の開催をすることを要望する。</p>	<p>頂戴いたしましたご意見につきましては、今後の学校再編計画の他、地域別の再編推進プランを作成する際の参考にさせていただきます。</p>	修正なし
18	<p>子供を小規模校に通わせている。隣の小学校も人数が少なく、迅速な合併を検討していただきたい。 今回の方針で、数年単位での計画をされていることは理解できるし、数十年先を予測するとさらに広域での統合が必要なのも理解できるが、現在の教育環境もきちんと考慮してほしい。 数十年後の広域での学区編成を前提に、数年単位での細かな学区編成も検討してほしい。</p>	<p>当該方針の基準に該当する学校につきましては、今後、策定を予定している学校再編計画と並行して、学校関係者や保護者に加え、地域にお住いの方々などからのご意見などを踏まえ、地域性に即した検討を進めてまいりたいと考えております。</p>	修正なし



広報かわぐち4月号
掲載記事